

真人の風

第37号(不定期)
(令和4年4月25日)
(全戸配布)

地域づくり 37号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel. 86-3002

真人里地の 移動支援を 考える会開催

3月26日(土)午後1時30分から真人ふれあい交流館を会場に「真人里地の移動支援を考える会」を開催し、地元住民42名と行政関係スタッフ等を入れた総勢57名で行われました。なお、この日は小中学生の保護者の声もお聞きしたいと、会場に託児所を開設し、年中さんから小学4年生を中心とした12名のお子さんをお預かりし、お母さん方に参加を頂きました。おかげさまで幅広い年代と男女間の比率も近寄った多世代での話し合いが出来ました。真人里地地区では、すでに住民アンケートを実施済みで、地域の問題や課題を把握していることから、令和3年度新潟県の新規単独事業であるビレッジプラン実践事業へ小千谷市農林課から推薦され、県内の15の重点地区に指定されたことを契機に、地域づくりを進めるため、真人町里地振興協議会内にビレッジプラン策定委員会(委員長渡辺雅明

を立ち上げ取組を進めているもので、プランに対する地域の声を反映したいことから取組が進められました。当日は、村上市の地域づくり専門家、都岐沙羅ハートナースセンター、齊藤王税事務局長を講師及び進行に迎え、第一部では4名の地域のグス



トから話題提供を円卓方式で行い、①「真人里地の人口推移と将来予測」②「小千谷市における公共交通」③「真人里地における高齢者世帯と地域の関わり」④「地域の高齢者やデイホームまっこの状況を瀧澤会長、羽鳥アイホーム指導員に観光交流課職員2名から報告し、講師の助言も含めて話題提供が行われました。第一部では、参加者が少人数グループに分かれて意見交換を行い全

体会で各班の意見、提案などの共有をしました。話し合いの一部ですが、人口推計からショックも受けましたが、現状を理解して行動していかなくては。高齢者対策だけでなく子育て環境も含めた移動支援の仕組みを考える。近所や地域が支えられなくなった時に親類縁者にさらに求められてもできない。など幅広い世代や地域の分野からの意見や話し合いが出来ました。



【参加者の声】 早川 恵美
ビレッジプランのお話を聞いて、ワクワクしたのは私だけですか？地域の課題について聞いた後、グループに分かれて暮らした不安や新しいアイデア、自分たちの経験を生かさないか？等、自由に思いを出し合いました。とても充実した時間

でした。この思い一つ一つを繋げて組み合わせていったら、この先どんなことが出来るかな！とワクワクしたので。昔はもともと「いえいえ、子供も元気な大人もいらっしやいます。思いを持ち寄って、今できることを今から進めていける地域。真人の未来はまだまだ明るいと思いました。



【講師まとめ概略】

「コロナ禍でこのような話し合いが出来ていない中で対策を行って実施されました。ぜひ継続をしていって頂きたい。そして今回すごいと思ったのは、幅広い年齢層と女性のバランスが取れていることは稀なこと、素晴らしい理想的な形で開催が出来ています。

移動支援については多くのところで対策がされてますが、大半が高齢者対策になっています。ですが、子育て中の親の送迎は馬鹿にならない。そういうところが置き去りにされているから、その世代が孤立化し、悪循環の事実ともなっている。バランスを取って進めなければならぬ。今後検討をする際に参考にして頂きたいのは、総論だけですと具体的に何をやるだけでなく、個別具体的なケースをとことんあげて、そこを解決していくにはどうしたらいいのか、対策等の実験を繰り返してください。一つ何かをやっていくと、これはほかにも使えるってことも出てきます。あるいは実験なので必ずしも毎回上

手く行くとは限らない。その時に上手く行かなかったことの検証をしないといけない。そこにヒントがあつて移動支援実験をやつて、送迎しますって形で訪問したり、実験車を走らせたりします。が上手く行かなかった。なんでそんな事になっているかを深堀していくことが大事です。例えば走らせた時間帯、乗降場所、行先、待ち時間や乗り降りの際の段差とか運転手の対応や、生々しい話であれば、「あの人が乗っているから嫌だ」とか、バスを走らせることについて話がいっぱいある。

上手く行つたらそこから広げて行ければ良い。上手く行かなかつたら何故かをきちんと検証して頂きたい。意外と落ちこぼれているのが情報の伝え方です。こう言つことをやりますと、言つた時によくあるパターンが、当事者の方にしか伝えない。例えば年寄りに車を走らせると発信するんですが、結構周りの人にもちゃんと知らせる。家族であるとか、地域で面倒を見ている民生委員や町内会長とかにどうですかと伝えることが結構効いたりするわけです。そうすると情報も、実はみんなが望んでいたんだけど知らなかった。いなと思つていただけ一歩が出なかつたので、後押しをするためにももっと周りに広げていければ良かったです。いきなり本番をやろうとせず、小さく実験をしていって、そこから対応を繰り返していくことが大事になります。岩沢のコミバスの実例もあり、真人版どうなるか。地域の方が求め、地域が必要と思うのであれば是非検討した方がいいですね。

ピレージプラン

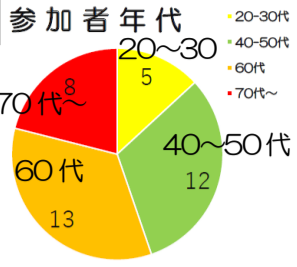
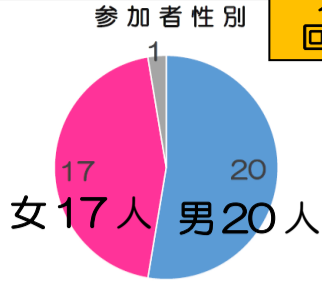
農村将来計画

今回の話し合いの内容も組み入れて計画を策定し、今後、皆様に計画案を示して一緒に作り上げていきたいと考えています。

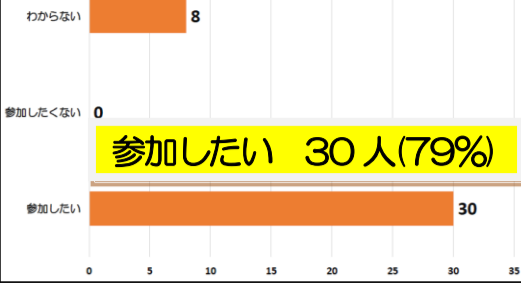
【策定委員会の委員を増員します】
高塩 富雄 (里地振興会副会長)
藤巻 義孝 (里地振興会副会長)
藤巻 良太 (栗山町内)
振興会副会長には、プランの全般に渡って参画

真人里地の移動支援等を考える会 参加者内訳 4.3.26

アンケート
回答者38人



将来プランに向けた計画について



住民の皆様方にも引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

藤巻良太さんには特に農業分野に力を頂きたいと考えています。昨年の地域の委員さんには引き続き今年度も継続して携わっていただくことになっております。住民の皆様方にも引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

保育園通園タクシー

運行始まる

昨年度休園となり、今年度から閉園となった真人保育園ですが、岩沢保育園までの園児の通園は保護者の負担となっていました。昨年度末に保護者からの申し入れに、真人町里地振興協議会として市に要望書を提出し、瀧澤会長と田中市議から担当課の健康未来こども課と協議が進められ、将来の運行継続には条件があるものの今年度から園児のタクシー通園が始まりました。

こちらも移動支援の一環となりませんが、延長保育や急な具合などにも対応する通院や一時預かりなどの仕組みが出来、子育て環境の充実がはかられたりしますと、他地区への通園から安心できる子育て環境が整ってきて、若者達の定着や婚活にも繋がるこの声も聞こえてくるようです。



一人の女の子は勢いよく保育園に駆け込んでいきました。今回は3人の園児が通園となり、運転手から保育士へ確実に引き継がれました。

お花見にGO!!

デイホームまこと

デイホームまこと(会長高塩秋雄)では、4月8日に真人里地区と4月12日に芋時・北部地区合同で両日共に21名の参加で新潟市内へお花見ドライブに行ってきました。デイホームのお花見はバスに乗ったまま桜を眺めるのがセールスポイント！午前は鳥屋野郷、午後は亀田のすこほり桜並木通りへ。4~5kmに渡り咲き誇る桜は感動的で歓声と拍手が。昼食は特注の中トロ入り握り寿司セットメニューです。最後は「ふるさと村」で記念撮影です!!奥の花畑に行くとき桜や春の花々を携帯で撮りまくり、まるで女子高生のようにしゃべっていました。皆さんの笑顔に「幸せパワー」を沢山もらいました。(羽鳥指導員)



統計功績者表彰

福原真佐好(上沢)

総務大臣より令和3年度統計功績者表彰を受賞され、表彰状と記念品が小千谷市長より伝達されました。統計調査はさまざまな計画を作るうえでの根拠となる重要な調査で、福原さんは複数年にわたる統計調査員として従事し、深い理解とご協力を惜しまず任に当たりました。



待望の春先除雪

市内の中でも積雪の深い真人町の北部地域ですが、冬期間は真人の里地と北部を繋ぐ主要な県道2路線と市道2路線が閉ざされ、連絡道路は四ツ子経由、旧川西経由となり、大きく迂回となります。

郵便配達や警察の巡回、デイホームをはじめとした用事のある機関などでは、早めの交通開放を待ち望んでいます。雪崩等の危険が伴うことから除雪後も安全確保の期間が長く不便が続きます。この4路線のうち、旧スクールバス運行路線であった市道市ノ沢線は雪崩の危険個所もないことから早期の除雪を市建設課に依頼していたところ、4月13日



に春先除雪を行っていただきました。来年は県議選、市議選が予定されていますので万全の対策を今からお願います。

【編集後記】

会報誌を発行していますが、住民の皆様からどの程度目を通して頂いているのか気になることだったので、先般のワークショップの参加者にご回答を頂きました。意識の高い方からの参加なのか、忖度を頂いたのか？多くの方からお読みいただいています。これからも地域づくりに貢献できるように努めてまいりますので、引き続きよろしくお願います。(渡邊)

会報誌「真人の風」について

